



## I 第40週の発生動向 (2018/10/1~2018/10/7)

1. 手足口病については、五所川原保健所管内で**警報**が継続しています。
2. 咽頭結膜熱については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。
3. マイコプラズマ肺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、むつ保健所管内で定点当たり報告数が11.00となり、急増しています。
4. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告は、A型4人、B型1人でした。

## II 第40週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減 数
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ														
			3	0.20							2	0.33	5	0.08	5
小児科	RSウイルス感染症														
			4	0.44	11	1.10	4	0.80	6	1.00			25	0.60	-4
	咽頭結膜熱														
	2	0.25			3	0.30	4	0.80	2	0.33			11	0.26	5
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎														
	3	0.38	3	0.33	9	0.90	1	0.20	6	1.00	8	2.00	30	0.71	16
	感染性胃腸炎														
	27	3.38	8	0.89	27	2.70	9	1.80	3	0.50	5	1.25	79	1.88	11
	水痘														
1	0.13	1	0.11							2	0.50	4	0.10	-6	
手足口病															
14	1.75	4	0.44	3	0.30	24	4.80	9	1.50	4	1.00	58	1.38	11	
伝染性紅斑															
1	0.13			1	0.10							2	0.05	-4	
突発性発しん															
		2	0.22	3	0.30	1	0.20	2	0.33	2	0.50	10	0.24	-5	
ヘルパンギーナ															
4	0.50	1	0.11	6	0.60	1	0.20	8	1.33			20	0.48	5	
流行性耳下腺炎															
		1	0.11	3	0.30			6	1.00	1	0.25	11	0.26	1	
眼科	急性出血性結膜炎														
															0
流行性角結膜炎															
1	0.50			1	0.50			1	0.50			3	0.27	2	
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)														
															0
	クラミジア肺炎														
															0
	細菌性髄膜炎														
														0	
マイコプラズマ肺炎															
		1	1.00							11	11.00	12	2.00	11	
無菌性髄膜炎															
														-1	

は警報、 は注意報。「空欄」:患者報告無し。

# 感染症の窓

## 水痘 (五類定点把握対象疾患)

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の感染症です。空気感染、飛沫感染、接触感染により広がり、潜伏期間は約2週間程度とされています。発疹の発現する前から発熱が認められ、典型的な症例では、発疹は紅斑(皮膚の表面が赤くなること)から始まり、水疱、膿疱(粘度のある液体が含まれる水疱)を経て痂皮化(かさぶたになること)して治癒するとされています。

水痘にはワクチンがあり、平成26年10月から定期接種となりました。1歳の誕生日の前日から3歳の誕生日の前日までの方を対象に2回接種します。2回接種することで軽度の水痘も含めて発症を予防できると考えられています。詳細についてはお住まいの市町村の予防接種担当課にお問い合わせください。

平成28年3月から水痘ワクチンを高齢者の帯状疱疹予防に使用することが承認されました。費用は自己負担となりますが、帯状疱疹による様々な合併症や神経痛の予防のためにも、ワクチンの接種が重要です。詳しくは、かかりつけ医にご相談ください。

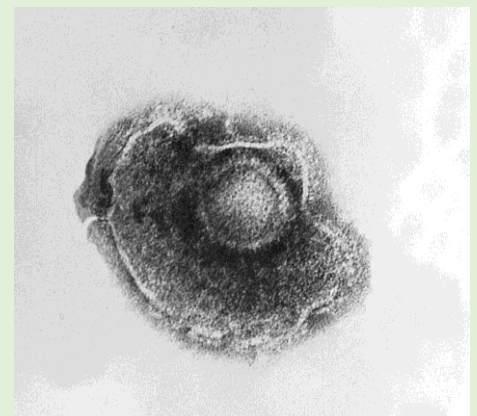


図:水痘帯状疱疹ウイルスの透過型電子顕微鏡画像

出典: CDC 米国疾病予防管理センターHP

◎詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞ [水痘 Q&A\(厚生労働省 HP\)](#)

🔍 [水痘 厚生労働省](#) [検索](#)



### Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前1人、八戸市1人、五所川原1人、上十三1人、むつ1人  
(2018年計：152人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：五所川原1人  
(2018年計：31人)
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：上十三1人  
(2018年計：43人)

### Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

### Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第37週～2018年第40週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
37	H30.9.10 ~ H30.9.16	レジオネラ症1人	侵襲性肺炎球菌感 染症1人 百日咳3人	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人			百日咳1人
38	H30.9.17 ~ H30.9.23		百日咳3人			腸管出血性大腸菌 感染症1人	
39	H30.9.24 ~ H30.9.30		梅毒1人	梅毒3人	腸管出血性大腸菌 感染症1人		百日咳1人
40	H30.10.1 ~ H30.10.7				腸管出血性大腸菌 感染症1人	百日咳1人	

- ・第37週に八戸市保健所管内でカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1例の届け出がありましたので追加しました。
- ・第39週に八戸市保健所管内で梅毒1例の届け出がありましたので追加しました。

### Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患)（2018年第37週～2018年第40週） (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
37	H30.9.10 ~ H30.9.16		1				
38	H30.9.17 ~ H30.9.23		2			1	
39	H30.9.24 ~ H30.9.30	1				1	
40	H30.10.1 ~ H30.10.7	1	1	1	1	1	1

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第39週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	16107	3	119	3205	24	17	334	784	9	5

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	5	3	2	64	1	3	99	139	212	3

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	2	39	10	2	1537	20	629	173	1528	44

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	516	11	157	533	970	55	360	28	2429	319

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	5081	137	89	57	6941	952	214	17

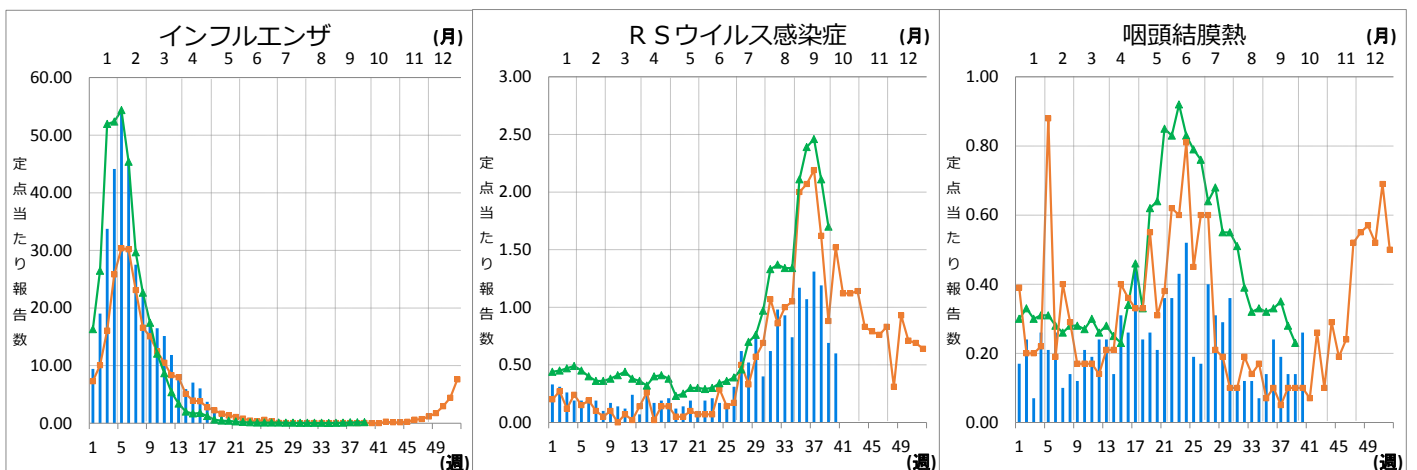
青森県（2018年第1週～2018年第40週までの累計）

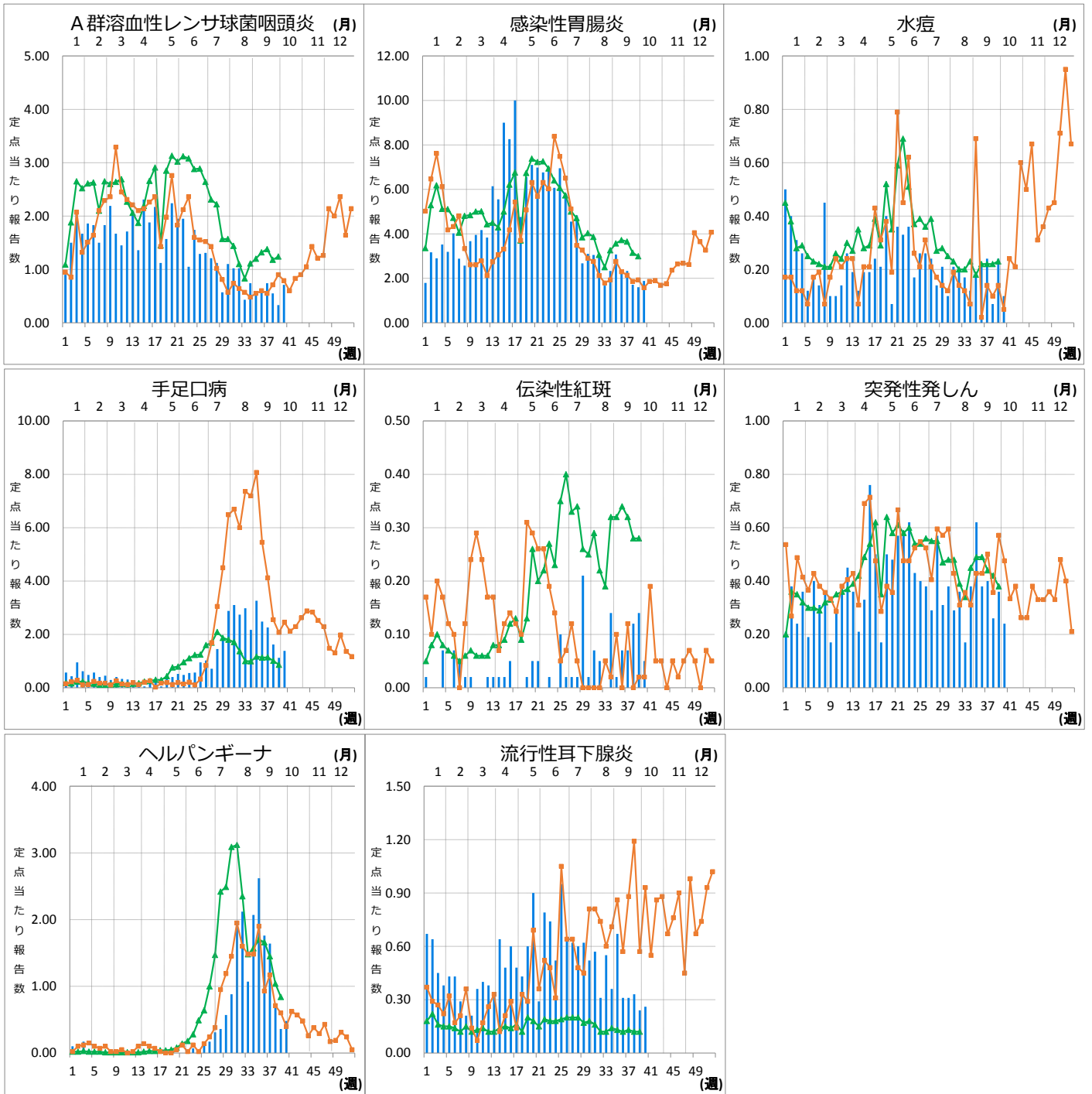
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	152	3	31	1	1	4	6	2	20	1

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	3	4	4	1	12	4	29	1	4	43

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第40週、ただし全国は前週）

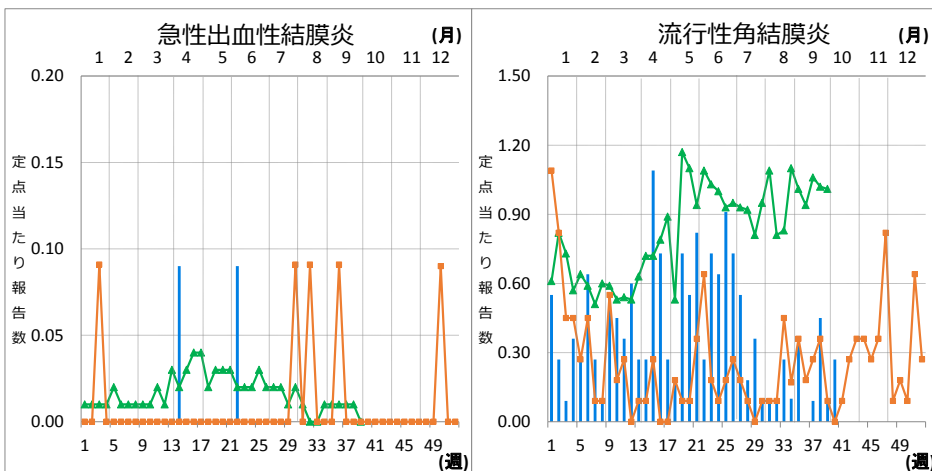
グラフの説明 ← は2018年青森県、■は2017年青森県、▲は2018年全国





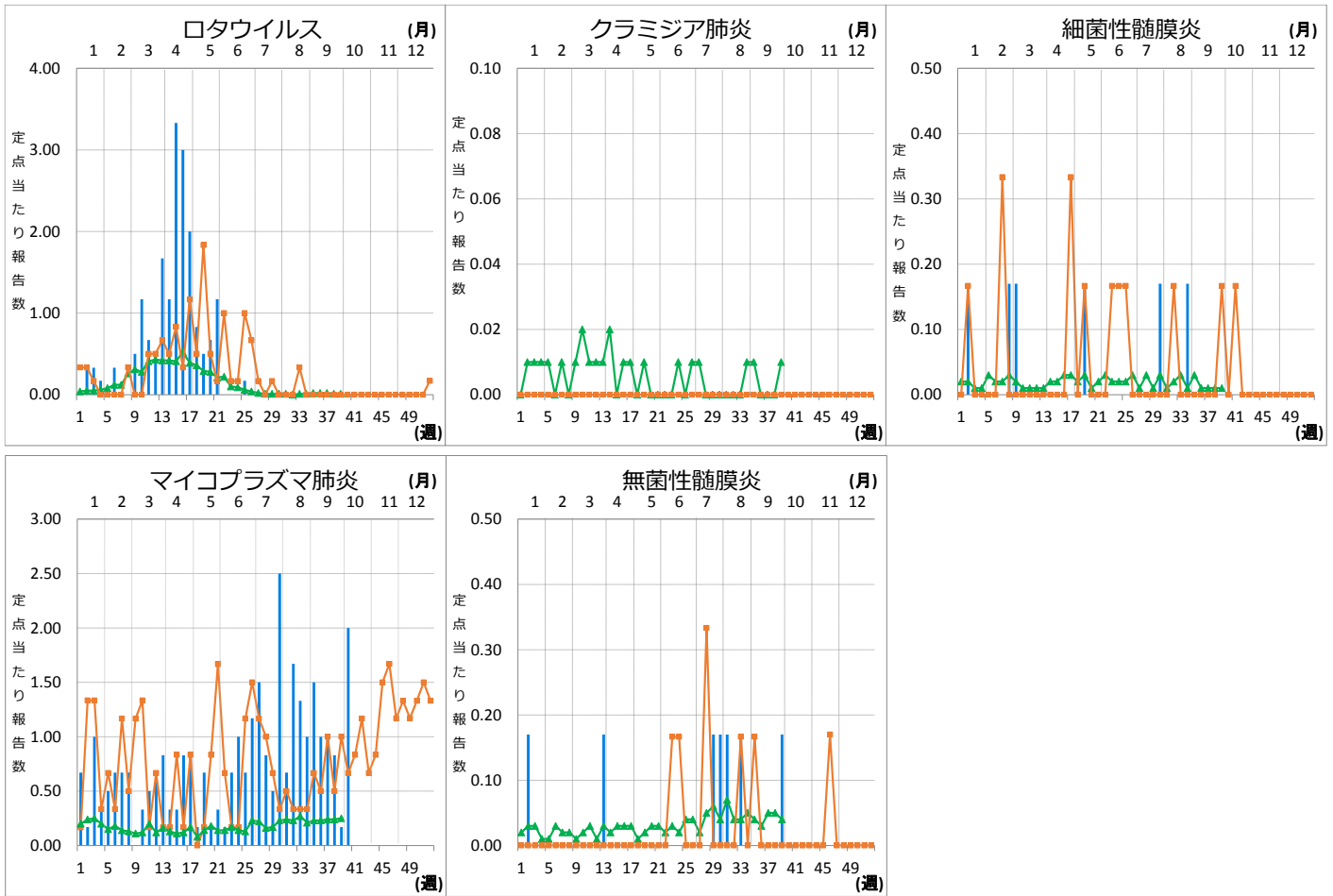
**Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第40週、ただし全国は前週)**

**グラフの説明** は2018年青森県、 は2017年青森県、 は2018年全国



**X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第40週、ただし全国は前週）**

**グラフの説明** —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



**XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況**

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第40週  
報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-39週	40週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	0	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	2	2	0	0	0	0	8
	発症者数	0	0	0	56	21	28	0	0	0	0	105
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	2	2	0	0	0	0	14
	発症者数	56	15	36	56	21	28	0	0	0	0	212